

南無ちゃんのブログ 2014年7月

7月1日(火)	荒らされたトウモロコシ畑.....	2
7月2日(水)	大雨が降る前に鮎釣り.....	2
7月3日(木)	スカシバという昆虫.....	3
7月4日(金)	雨の翌日の農作業.....	4
7月5日(土)	農作業に区切りをつけて・・・.....	4
7月6日(日)	第二次九頭竜川遠征初日.....	5
7月7日(月)	第二次九頭竜川遠征二日目.....	5
7月8日(火)	第二次九頭竜川遠征三日目.....	6
7月9日(水)	第二次九頭竜川遠征四日目.....	7
7月10日(木)	第二次九頭竜川遠征五日目.....	7
7月11日(金)	第二次九頭竜川遠征にピリオド.....	8
7月12日(土)	逞しい植物.....	9
7月13日(日)	電気乾燥庫で鮎の一夜干.....	9
7月14日(月)	今日の農作業.....	10
7月15日(火)	旭川(勝山)で鮎釣り.....	11
7月16日(水)	電気工事士試験の準備.....	11
7月17日(木)	続電気工事士試験の準備.....	12
7月18日(金)	第三次九頭竜川遠征初日.....	12
7月19日(土)	第三次九頭竜川遠征二日目.....	13
7月20日(日)	第三次九頭竜川遠征三日目.....	13
7月21日(月)	第三次九頭竜川遠征四日目.....	14
7月22日(火)	第三次九頭竜川遠征五日目.....	15
7月23日(水)	第三次九頭竜川遠征六日目.....	15
7月24日(木)	電気工事士試験の練習.....	16
7月25日(金)	電気工事士試験の練習(その2).....	17
7月26日(土)	第二種電気工事士試験.....	17
7月27日(日)	坂口錦司さん(JA4AQA)を偲んで.....	18
7月28日(月)	桃のシーズン.....	19
7月29日(火)	キャンピングカーのソーラーパネルにヒビ割れ.....	19
7月30日(水)	第四次九頭竜川遠征初日.....	20
7月31日(木)	第四次九頭竜川遠征二日目.....	21

7月1日(火) 荒らされたトウモロコシ畑

今朝、トウモロコシ畑を見回ると、何者かに生長途上のトウモロコシの茎のあたりから喰い散らかされていました。一昨日見回った時には何ともなかったのに……

想像の域ですが、犯人は猪かアナグマだと考えられます。約60本植えていたのですが、1/3の20本位は被害にあったようです。2/3は残っているので、考えようによっては、まだ食べる分は残っているとも言えます。そのまま放置すると、全滅するのが目に見えているので、対策として柵を設置しました。

今日は、その他、落花生畑の草を取ったり、太陽光発電所の周辺の法面の草を刈ったりしました。



7月2日(水) 大雨が降る前に鮎釣り

明日から雨の日が続くような天気予報です。特に今夜から明日にかけて大雨になりそうです。そうなる前に鮎釣りができなくなってしまうので、その前に鮎釣りに出かけました。日野川に行こうかと迷いましたが、真庭市勝山に行きました。我が家から車で1時間の距離です。以前岡山市の職場に通勤していたのと同じ位なので、ヘッチャラです。朝7時前から自宅の廻りの草刈をしてから積み込みをして、9時頃出発しました。

平日ということもあってか、釣り場を見渡したところ、釣り人は5人位でした。水位は二週間程前に来たときと同じ位で、渇水が続いているようです。オトリ屋さんに聞くと、場所ムラがあるとのこと。最初の一尾は重要なので、二週間前に来た時に釣った場所に入って見ました。10分程で最初の一尾をゲットできたので、今日は楽勝ムードです。サイズも16~21cmとまあまあでした。

腕時計を忘れたので、時間が分からず、昼飯を食べるのも忘れて熱中してしまい、そろそろ止めようかと思って竿を畳んで、近くに人に時刻を尋ねると午後4時過ぎでした。

今日の釣果は18尾でした。大雨が降る前に、近場の勝山でソコソコ釣れたので、大満足の日でした。



7月3日(木) スカシバという昆虫

ブドウの害虫として、ブドウスカシバとクビアカスカシバというのがいます。これらに共通なのはスカシバという点です。スカシバというのは漢字で「透翅」と書くようで、蛾の仲間です。「透かし羽」とも書くようです。このことから察せられるように、透けた羽をもつ蛾なのでしょう。

写真左は6月29日にブドウ園の中で捕まえたもので、写真右は7月1日に草刈をしている時に、笹の葉の上にとまっていたものです。両者は同類だと思われます。羽全体は黒くて、中に透明の斑点があり、胴体は黄色と黒のストライプ模様です。大きさは3cm位で、一見アシナガバチに似ています。

この昆虫の名前を特定したくてWebの写真などを見て廻ったのですが、ブドウスカシバとは一寸違うようです。もしかしたら、新種なののでしょうか???単に調べ方が足りないだけなのでしょうが、すっきりしません。

いずれにしても、スカシバ類はブドウの大敵のようなので、7月下旬にもう一度防除をしたいと思います。薬剤はパダン SG 水溶剤の1500倍液を枝幹部に十分かかるように散布すれば良いようです。この農薬が原因かどうかは不明ですが、今年も昨年もパダン SG 水溶剤とオンリーワン F、ランマン F、アビオン E を混和した農薬を散布した直後に、一部のブドウの木の葉が萎縮するという病状が見られました。私も素人っぽい人なので、粒状のパダン SG 水和剤の溶かし方や混和の仕方が不十分で農薬濃度が偏っていたのかもしれませんが、注意しなくてはならないと反省しています。



7月4日(金) 雨の翌日の農作業

今朝は、雨が上がって曇り空の農作業日和です。こんな日に適した農作業と言えば、草取り(草むしり)です。土が水分を含んでいるので、草を抜き易いのです。

ブドウの株元の草取りをしなければいけないと思いつつ、ずっと放置していましたので、好機到来です。ついでに、サツマイモを植えた畝の草取りもしました。草取りは11時頃までかかり、終わった頃には頭に血が下がったのか、少し気分が悪くなってしまいました。

その後で、家の廻りの道路脇の草刈をして、午後3時頃からブドウ園でブドウの世話をしました。



7月5日(土) 農作業に区切りをつけて・・・

今日は土曜日ですが、朝早くから農作業を頑張りました。ブドウ園に行って、昨日の作業(棚付・摘心・虫取)の続きをして一段落しました。これで一週間は放置していても良いでしょう。

その作業が終わったら、太陽光発電所とブドウ園の中をF1MASAOで草刈しました。これで、10日間位は大丈夫でしょう。

これで、農作業は一区切りついたので、今晚から九頭竜川に今年二回目の遠征にでかけるつもりです。来週はすこしぐずついた天気が続くかもしれませんが、梅雨なので仕方ありません。台風が接近するという予報ですが、余程酷くなれば、早めに切り上げたいと思います。



7月6日(日) 第二次九頭竜川遠征初日

午前6時半に服部オトリに到着

平水、笹濁り、天気くもり

8時前に飯島分流の一番瀬左岸側に入る

日曜日のため釣り人が多く、上下から挟まれて身動きが取れなくなったので、飯島本流の中洲側に入る

正午頃から飯島分流中洲側に入る

午後2時頃遅めの昼食を摂り、その後で飯島分流左岸側に入る

午後5時から上がる

釣果 24尾、サイズは12cmから20cm



7月7日(月) 第二次九頭竜川遠征二日目

昨夜からの雨は、永平寺町では降ったり止んだりでしたが、上流ではかなり降ったようです。午前6時頃には増水も左程ではないかなと思っていましたが、10時の時点で30cm位の増水になりました。まだ、笹濁り程度だったので、入川してみました。水かさが増えた分だけ、押しも強くなっていますので、流速の弱いところをさすのですが、芳しくありませんでした。結局正午までの釣果は6尾でした。

午後からインターネットで天気をみたり、ニュースをみたり、福井市の釣具店(フナヤ)に行ったり、仕掛けを作ったりして過ごしました。

昨日入川した時に川を切る時に胸のあたりまで水につかりそうだったので、今シーズン初めてウェットタイツを使ったのですが、経年によりかなり劣化してて、そこらじゅうにひびが入っていました。そろそろ買い時かな?とっていたので、今日、フナヤに行ったときに注意して見ていると、なんとシマノのウェットタイツ TI-181G が半値以下の7,018で販売されていたので早速買い求めました。

夕方、飯島に帰ってみると、更に増水が酷くなっていて、昨日に比べると70cmは高くなっているようでした。明日は鮎釣りはできないかもしれません。超大型の台風8号が接近しているというニュースもあるので、早めに切り上げて帰宅した方が良いのかも知れません。



7月8日(火) 第二次九頭竜川遠征三日目

今朝の九頭竜川は、増水と濁りのため鮎には適していません。でも、天気はよさそうなので近くの竹田川に行きました。朝6時に起きて、川の様子を見に行くと、水は30cm位増水していましたが、濁りはありませんでした。しかし、魚影は確認できませんでした。

一旦永平寺町に戻り、朝食を済ませてから、ボウゼブンイレブンで日券(¥1500)を購入して、再び竹田川に行きました。丸岡温泉のフロントで釣り場や川の状況について聞こうと思ったら、丁度、7月6日の解禁日から泊りがけで来られていた竹田川ファンの方から話を聞くことができました。それによると、釣果は芳しくなく、原因は解禁日前の濁り水によってアカが飛んだことだと思われるとのことです。やめた方がよいよとアドバイスされましたが、既に日券を購入した後だったので、天気も良いし、ボウズ覚悟で入川しました。

魚影は薄く、あたりは中々来ませんでしたが、あちこち場所を移動していると、やっと竹田川の鮎1号に巡りあえました。型は16cm位の小ぶりちゃんでしたが、オトリにはなります。竿は7.2mの支流用を使ったのですが、それでも木の枝にしょっちゅう当たります。丸岡温泉周辺で1時まで頑張って5尾の釣果でした。

下流にもっと良い場所があるのではないかと、車で移動してみましたが、川幅は狭く、渓谷を急いで下って、平野部にでると用水路のようになっていて、あまりやる気はしませんでした。

仕方なく、飯島に戻ってみると、濁りは取れていて、何人かの釣り人が川に入っていたので、私も参戦して2尾を追加しました。



7月9日(水) 第二次九頭竜川遠征四日目

今日の九頭竜川は平水、濁りなし、天気晴れ、風 2m/s 以下
鮎釣りには最良のコンディションです。

午前も午後からも吉波に入川しました。

釣果は午前中 10 尾、午後から 18 尾でした。

今日は沢山釣れたので、氷締めにして、鮎用冷凍袋に一尾ずつ入れて、森石釣具店の冷凍庫に入れさせてもらいました。



7月10日(木) 第二次九頭竜川遠征五日目

今日の九頭竜川は平水、濁りなし(水位は昨日よりも少し減水)

天気は曇り時々雨、強風(5m/s~10m/s)山風

川の状態は良いのですが、台風が接近しているというニュースなどによって敬遠されたのか、釣り客は疎らでした。強風なので 7.2m の短い竿を使って、朝は吉波のチャラ瀬に入りました。今朝の吉波は私のともう一人の釣り客だけでした。正午を回ると一人ぼっちになったので、川から上がって飯島の服部オトリに行って昼食にしました。午前中の吉波での釣果は 15 尾でした。

飯島でも川に入っているのは、見渡せる範囲内にたったの 3 人でした。午後から飯島のトロに入って暫くすると、服部オトリの親父さんに川から上がるように言われたので、上がりました。なんでも、ダムが放水するので釣り客を川から上がらせるように漁協から連絡があったとのことでした。飯島の一番瀬を岸から釣る分には良いとのことだったので、そうしていると、後ろからメガホンで川から上がるようにと北陸電力の職員から呼びかけられました。丁度 3 時頃で、風も弱くなったし、これからゴールデンタイムが始まるかと思っていたのに残念です。午後の釣果は多分 5 尾位だったと思います。強制終了させられたので、数えていないのです。

仕方なく川から上がって、丸岡温泉に行きました。今夜台風が再接近するだろうと考えられるので、山に囲まれた丸岡温泉は風裏になりそうです。



7月11日(金) 第二次九頭竜川遠征にピリオド

今朝6時半に丸岡温泉を出て飯島に帰ってみると、濁流に大增水という有様でした。上流では相当降ったのでしょねえ。回復には二三日かかりそうなので、帰宅することにしました。

明日は土曜日なので休日割引が効くのですが、今日はダメです。本当は明日帰りたかったのですが、一日ボオっとするのも能がないので、高い高速料金を払うことにしました。

休日および深夜の割引率が50%から30%になり、実質的に値上げされたのは家計に痛いのですが、開き直って考えると、「30%しか割引されないのなら、自分の都合の良い時間や曜日に利用すればいいんじゃない？」とも言えます。そう考えると、気が楽になりますね。お金のせいで、時間を縛られるなんて嫌だもんねえ。

帰り道の天候は、午後2時頃中国道美作IC付近で猛烈な土砂降りだった以外は、概ね薄曇りだったので楽に運転できました。でも、昼間の長距離移動は、車内で横になって休憩するには暑いので、できれば避けたいものです。



7月12日(土) 逞しい植物

今日はブドウ園で一日中、棚付け、摘心、芽かぎ、虫取りなどの作業をしました。ブドウの若木(3年目)20本の世話をするのに約8時間かかりました。

6月末頃、ブドウスカシバと思われる害虫に蔓の先端が枯死してしまったので、切り戻しましたが、副梢が成長して本来の垂主枝と同じ位の太さにまでなりました。農大の先生が、「ブドウは蔓だから何とでもなる」と言われていたのを思い出しました。ブドウの蔓は実に柔軟性に富んでいるのです。なので、少々虫に食われても、気にしなくて大丈夫です。

石垣の僅かな隙間に根を張っている「ど根性ひまわり」を見つけました。こんなところに良くぞ生えたものだと感心しちゃいます。



7月13日(日) 電気乾燥庫で鮎の一夜干

今朝は本降りの雨でした。昨夕から一夜干しを作ろうと準備していた鮎の処置に困ってしまいました。そこで、今年春に購入した電気乾燥庫を利用することを思い付きました。臭いが移りはしないかと心配ですが、使わないというのは宝の持ち腐れなので、思い切って試してみました。

50°C5時間で、柔らか過ぎもせず堅過ぎもせず、いい加減に仕上がりました。ただ、水分を吸わせるために鮎の開きの下に敷いたペーパータオルが、乾燥した鮎の肌に付いてしまい、剥がすのに手間取りました。今回の分は、鮎を焼く時にガストーチで炙って、紙を燃やしてしまおうと思います。ヤギさんになって紙も食べちゃうという手もありますか？

電気乾燥庫を使えば、いつでも一定の品質で仕上げることができそうです。次回一夜干しを作る時には、今回の失敗を踏まえてスキルアップしたいと思います。

出来上がった鮎の一夜干しを、真空パック器で真空パックにしてみました。こうしておけば、2週間以内なら冷蔵庫でも十分保存できるでしょう。冷凍庫に入れば、更に長期間保存できます。



7月14日(月) 今日の農作業

トウモロコシの防除

ブドウの防除

ブドウの株元の草取り

---昼休み---

池の土手の草刈

バジルに支柱を設置して枝間引き

落花生畑の草取り

唐辛子(鷹の爪) 苗を定植

落花生畑に猪対策用の柵を設置



7月15日(火) 旭川(勝山)で鮎釣り

朝1時間程、太陽光発電所の廻りの草刈をした後で、鮎釣りに出かけました。9時半頃に家を出て、勝山には10時半頃到着しました。江田釣具店でオトリを仕入れて、今日は上流の方に歩いて行って、旧役場前のあたりで川に入りました。竿を出したのは11時を回っていました。濁りはなく、前回来た時よりも少し水が高いようですが、特に問題ありません。

平日ながら、ポツポツ釣り客がいらっしゃいました。勝山の鮎は徐々にサイズダウンしているらしく、今日掛けた14尾の鮎のサイズは15cm~19cmでした。私見ですが、勝山の鮎はスリムなので、アタリがソフトで、取り込み時にも暴れたりせず実に大人しいのです。せっぱりのある九頭竜川の鮎が恋しくなってきました。

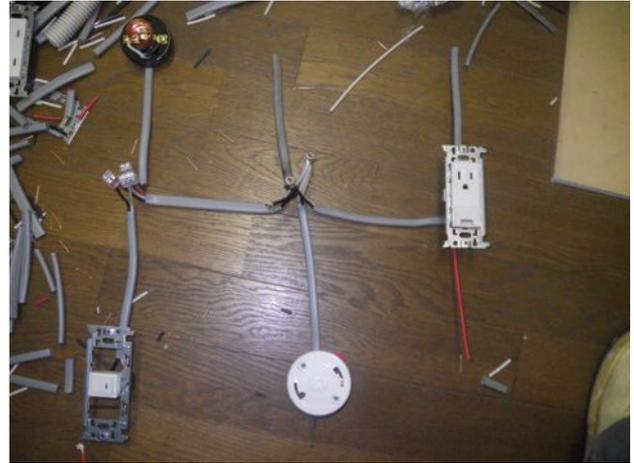
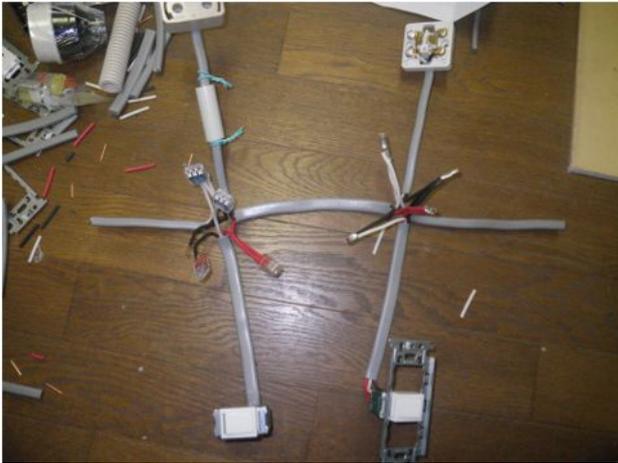


7月16日(水) 電気工事士試験の準備

昨年は時間(40分)内に作品を仕上げることができず、試験不合格になってしまいましたので、今年は万全を期して、受験用器具セットを購入しました。一月程前に配達されていたのですが、あまり早くから勉強しても忘れてしまうといけないので、箱に入ったままでした。試験日が10日後に迫ってきたので、そろそろ受験準備として、練習をしなきゃあ・・・ということで、公表問題を一つづつ、器具を揃えて自分一人で模擬試験をしてみました。今日はNo.1とNo.2の2問だけやりました。時間的には、間違いなく作業すれば時間内に収められることの確認ができました。

今日はその他、次の作業等をしました。

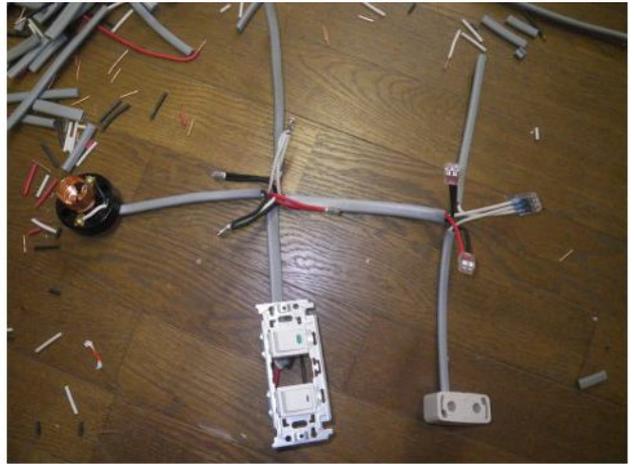
- 1)ブドウ園内の法面の草刈
- 2)昨日乾燥したバジルを粉にして瓶詰
- 3)昨日塩抜きして干した豚バラ肉をヒッコリーで薫製
- 4)鮎を友達に配達し、郵便局とガソリンスタンドに行って軽トラに給油
- 5)キャンピングカーの貯水タンクの蓋が割れていたなので、FRPで補強
- 6)ベーコンをカットして真空パック



7月17日(木) 続電気工事士試験の準備

明日から第三次九頭竜川遠征に出かけようと思っているので、今日は朝からブドウ園で棚付け・芽かぎ等の作業を午前中4時間、午後2時間みっちり頑張りました。

天気は概ね曇りでしたが、昼間は暑いので、1時から4時の間は電気工事士試験の模擬試験をやりました。今日は公開問題 No.3とNo.4の2問をやりました。少しは慣れてきたので、時間的にも余裕ができるようになりました。



7月18日(金) 第三次九頭竜川遠征初日

濁りなし、増水20cm高の飯島の一番瀬。

風もないので、10mの竿(SHIMANO FW 100 NZ)を出してみました。後で考えてみると、これが良くなかったようで、5尾も根がかりで失いました15尾以上掛けましたが、明日のオトリを繋ぐのがやっとでした。

私にとって、長い竿は手に合わないというか、正に無用の長物なのかもしれません。この竿は私の持っている竿の中で最も高価なものですが、この竿を買ったのは失敗だったと思っています。

DAIWA の 11m の竿(狙110 SR)も持っていますが、何処に行っても出番がありません。これも失敗です。この 2 本の竿だけで、ゆうに 50 万円は越えていたと思いますが、無用の長物、衝動買い、銭失いでした。自分の身の丈に合った竿を買うべきでした。



7月19日(土) 第三次九頭竜川遠征二日目

天気晴れ、4時頃土砂降りの大夕立で幕切れ。

今日も飯島。ウェットで中州に渡って、一番瀬を指す。そこそこ良型の鮎が掛かる。気分爽快。午後からも、そこそこ良型の鮎がかかったので、満足の日でした。



7月20日(日) 第三次九頭竜川遠征三日目

未明に断続的に激しい雨と雷があり、夜中に何度も起きました。案の定、川は濁流、増水しており、今日は鮎釣りはできません。鮎釣りどころか、川に浸けておいた曳船や友佐も濁流の下になっていて、所在や安否さえ不明です。

でも明け方には雨は止んで、ピーカンの晴天になりました。川の水位は7時頃がピークだったようで、徐々に引き始めました。

勝山方面にコーヒーでも飲みに行こうかと思いかけたところ、ひよんなことから「かつやま恐竜の森」に来てしまいました。小中学校も夏休みになったようで、大勢の親子連れが来ていました。

10時頃、飯島に戻ると、ピークよりも約50cm水位が下がっていたので、SHさんとFMさんは曳船や友缶を回収して帰られました。

おとり屋さんによると、明日には濁りも取れて、鮎釣りができそうとのこと。

午後から、昨晚の睡眠を取り戻すために昼寝をして、仕掛けを修理したり、鮎の一夜干しなどを作って過ごしました。夕方5時頃には、水位が下がって、濁りも徐々に取れてきたようなので、竿をだしてみました。30分程、無反応の状態が続いたので、仕方なく終了としました。



7月21日(月) 第三次九頭竜川遠征四日目

天気快晴。ほぼ無風(2m/s以下)。水位約20cm高。笹濁り。

午前は飯島一番瀬左岸。釣果10尾。15~20cm。

午後は飯島三番瀬右岸。釣果15尾。15~18cm。

一度つまみ糸が切れて親子どんぶりしただけで、その他ライトラブル無く、釣果もまずまずなので、満悦至極。

今日は三連休最終日にも拘らず、昨日の濁流、増水に愛想を尽かして帰宅された遠征組みが多かったせいか、釣り客は比較的少なめでした。

写真(左下)は30cm位のウグイ。こんな鮎が釣れたら良いのに・・・



7月22日(火) 第三次九頭竜川遠征五日目

一日中曇り空の天気で寒いくらいでした。川は昨日よりも更に10cm程度減水し平水+10cmで薄い笹濁り。

ライントラブル2回。

午前、飯島三番瀬の中州側

水位が下がったので中州に渡って、三日前に入ったポイントを目指しましたが、その時よりも水位が高いため、到達できず、流されて膝を打ったり、オトリは浮くし5尾程度の釣果でパツとしませんでした。

午後、吉波の左岸

吉波で一尾目を首尾よくゲットしたと思ったら、タモからびよんと跳ねられてしまったり、深くウェーディングしたら流されて根掛りしてライン切れしたりで、悪循環の日でした。

いい日もありやあ悪い日もあります。

一日の釣果はやっとツ抜けした程度で、数える気もしないほどでした。

そろそろ飽きてきたので、明日釣ってから帰ろうと思います。なので、生かしておいた鮎を氷で絞めて、もりいし釣具の冷凍庫に預けました。



7月23日(水) 第三次九頭竜川遠征六日目

曇り時々晴れ、風弱く、鮎釣りには良い感じの天気でした。水位は、ほぼ平水で濁り無くクリア。

今日で第三次遠征を終えるつもりなので、気持ち良くクローズしたいものです。

今回の遠征では、ずっと飯島なので、少々飽きてきましたが、自分の腕なら、何処でどれ位釣れるかわかって来たので、今日も飯島で釣りました。

午前・午後共、飯島の三番瀬右岸側。午前13尾、午後10尾の釣果。サイズは15~22cm。根掛り、ライン切れ4回。何故か、大きな鮎をゲットして気を良くして送り込むと根掛りしたり、石の間に挟まったりしてロストし、意気消沈・・・0.05の複合ラインも全部無くなり、二本用意していた0.08の複合ラインもロストして、仕舞いには0.15号の複合ラインを出す始末です。釣り針もなくなり、矢も尽きました。

まあまあ釣果に満足して4時頃終了。鮎を氷締めして、もりいし釣具に行って冷凍鮎を引き取り、禅の里温泉に浸かってから、午後6時頃帰路につきました。

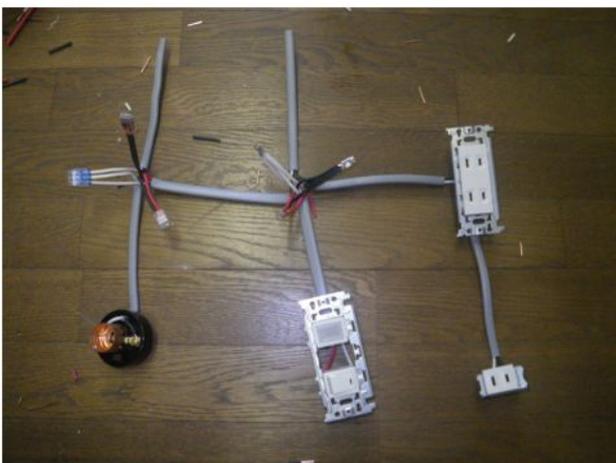
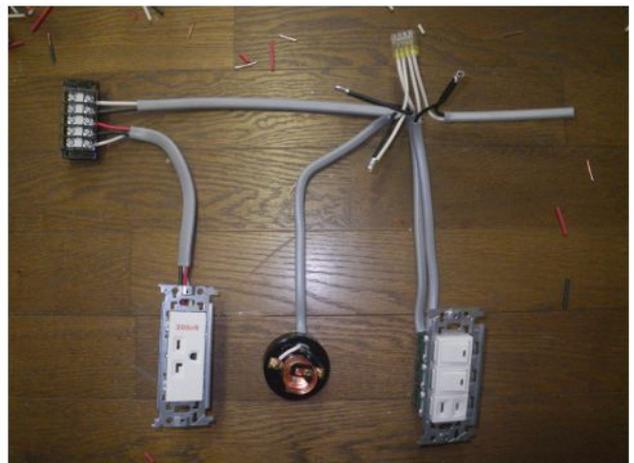
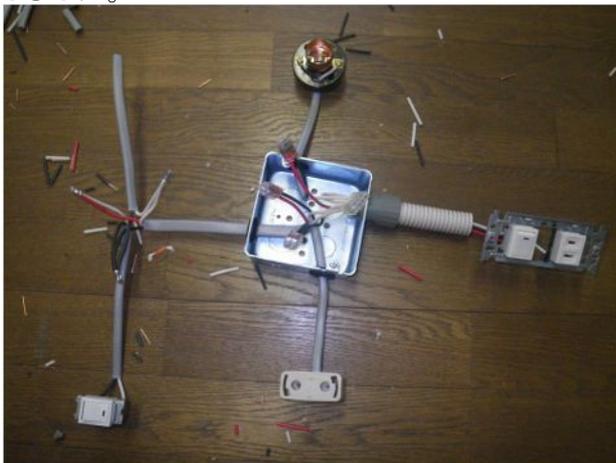


7月24日(木) 電気工事士試験の練習

今朝7時頃帰宅して、釣り道具を片付けたり、洗濯したりしてから、ブドウ園に作業に出かけました。今日は凄く暑い日でしたので、午前中の作業だけで熱中症になりそうでした。やっぱり川の中の方が涼しいです。早くも鮎釣り中毒の禁断症状が出てきたようです。

午後から暑さを避けて、無線小屋に籠って電気工事士試験の公表問題 No.5～No.8 を実際の試験を模擬して練習しました。

午後5時頃になって、やっと陽射しが和らいだようなので、ブドウ園に行って作業の続きを再開しました。

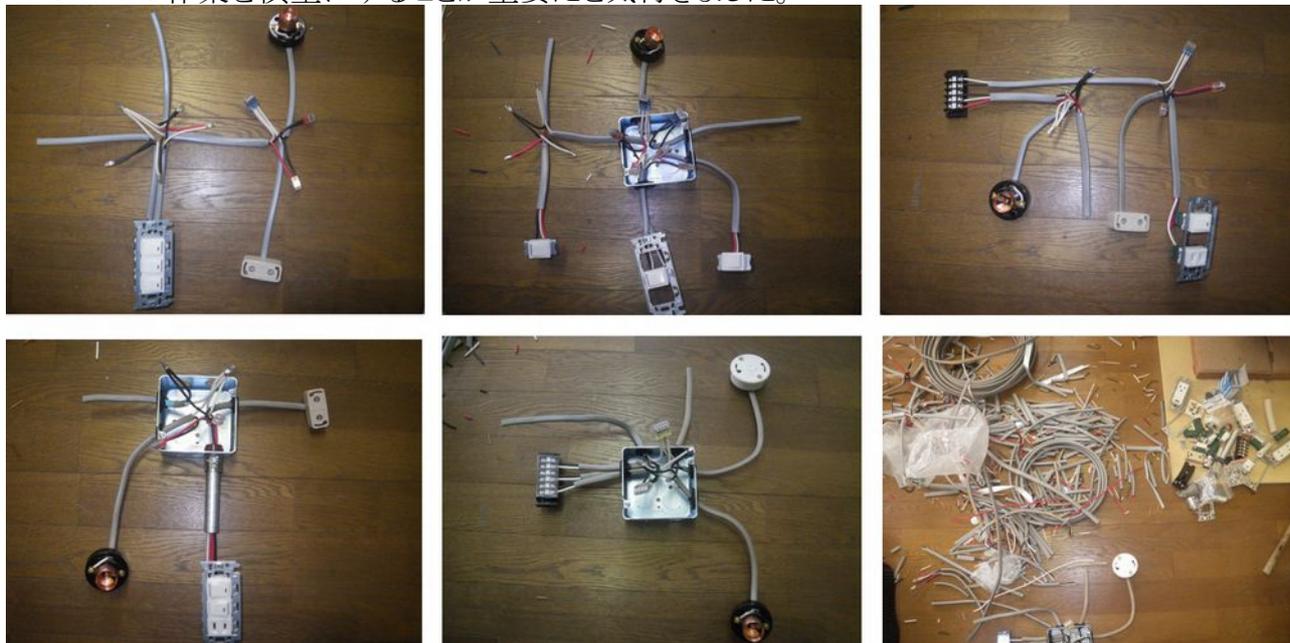


7月25日(金) 電気工事士試験の練習(その2)

今日も暑い日になりました。そういうこともあろうかと思い、朝8時から10時まで、ブドウ園で、棚付け、摘心、芽かぎなどの作業をしました。

昼前に1問、午後から4問(公表問題 No. 9~13 まで)を実際に配線してみました。

練習している内に、序々に慣れてきました。慣れてきたものの、平均35分程度かかります。40分という試験時間からすると、ほぼぎりぎりですので、何かを誤るとリカバリーする時間はありません。一つ一つの作業を慎重にすることが重要だと気がきました。



7月26日(土) 第二種電気工事士試験

今日は電気工事士の技能試験に行ってきました。何もこんな暑い日にしなくて良いのと思うのですが、岡山で受験しようとする、この時期の試験だけなので仕方ありません。でも、今年は試験会場がコンベックス岡山(展示場)だったので、冷房が良く効いていて、快適な環境で受験できました。

試験問題は公表問題 No.4 でした。この問題は13問の中でも最も簡単な部類で、自宅で練習した時にも特に問題もなく30分で完成していました。今日は2回目ということもあってか、25分で完成しました。自分としては合格したんじゃないかと思っています。

会場を見渡してみると、受験生の約7割は高校生(多分工業高校の電気科の生徒さん)でした。隣席の高校生に聞いて次のことが分かりました。自分は2年生であり、クラスの全員が受験している。二年生の時に受験して合格すれば、三年生になって就職活動の際に少なからず有利になるんでしょね。そんなことを思うと「合格しなきゃ！」と思って結構プレッシャーがあるのかもしれない。隠居の私とは大違いです。

私は昨年見事に失敗したのですが、特に何に影響があるという訳ではないのです。

試験会場に関して不便に感じたことがあるので、今後の改善されることを願って、ここに書き残しておきたいと思います。

①試験会場の案内が無く、場所を探すのに手間取った。

コンベックス岡山には3つの展示場があるのですが、受験票には「コンベックス岡山」と記載されているのみでした。エントランスは2箇所あるのですが、東側エントランスから入った私は場所を探すのに手間取りました。高校の先生らしき人に尋ねて、やっと事なきを得ました。東側のエントランスにも、何らかの掲示などをして欲しかったです。或いは、受験票に「コンベックス岡山・中展示場」と記載してくれても良かったと思います。昨年は岡山大学津島キャンパスの確か工学部で試験がありましたが、「岡山大学津島キャンパス」という記述だったらさぞかし困ったことでしょう。

②退出に時間がかかり過ぎ

展示場という広大なスペースが試験会場なのに、1列ずつ退出させるという大学の教室でやっていたのと同じ方法を適用して、遙か彼方の100m位先の列から順に受験者を退出させたので、試験終了後、私が退出できるまでに30分以上かかってしまいました。適当に会場を分割するなどして速やかに退出できるような方法を考えて欲しいものです。ちなみに受験者は約800人でした。



7月27日(日) 坂口錦司さん(JA4AQA)を偲んで

坂口さんは去る7月24日、サイレントキーとられました。行年80歳でした。今日、お葬式でしたので、お見送りさせていただきました。もう、あのエンドレスコール(Alfa-Quebec-Alfa...Alfa-Quebec-Alfa)を聞くことはできません。ご冥福をお祈りいたします。

坂口さんと知り合ったのは、30年程前に、私が田舎に帰ってアマチュア無線を本格的に楽しみ始めた頃でした。初めてビームアンテナ(14MHz用4エレ八木)を上げてDXハンティングをしていると、かなり強い信号の局がいることに気がきました。坂口さんとは直線で約6kmの距離なので、信号が強力な訳です。私は駆け出しのDXサーだったので、DXハンティングに関して坂口さんから色々と教わりました。

私も坂口さんも、その頃は100ワット局だったのですが、その内に先ず坂口さんが500ワットライセンスを取得して、次いで私も500ワットの免許を受けるなど、お互いにDX情報を交換したり、訪問しあったり切磋琢磨して、親子程、年は離れていてもアマチュア無線という趣味を通して友人としてお付き合いさせて頂きました。

坂口さんは実直で温かな性格の人でした。お金さえ出せば、安直にQROできるのに、そんなことはせず、リーガルリミットの設備でパイルアップに立ち向かうタフガイでした。そういう人だったので、DXCCオーナーロールにはなれなかったかもしれませんが、私はそういう坂口さんが好きでした。私は、少なからず、そういう坂口さんの影響を受けて、法令を遵守し、ずっとリーガルリミットで運用しています。

7月28日(月) 桃のシーズン

土用になって毎日猛暑が続いていますが、岡山名産の桃の季節です。特にこの時期は「清水白桃」という品種の最盛期です。私が九頭竜川で釣った鮎が桃になりました。「麒麟さんが好きです、でもゾウさんのほうがもっと好きです」になぞらえて、「鮎も美味しいけど、桃の方がもっと美味しいです。」って感じです。スイカも貰ったし、鮎が色んなものに化けてくれました。これも「里山資本主義」の一つかなあ？！

午前中、1時間半程ブドウ園の草刈をして、外出して、また夕方1時間半程草刈をしました。FIMASAOで刈り残した部分(例えばブドウ棚の支柱の列など)は刈り払い機で刈るしかないので。明日、頑張って棚付け、芽かぎなどの作業をして、また1週間程遠征に行きたいと思います。



7月29日(火) キャンピングカーのソーラーパネルにヒビ割れ

二三日前に、キャンピングカーが埃まみれで薄汚くなっていたので、拭き掃除をしました。ついでに屋根を掃除しようと思って、三脚に上って車の屋根を見ると、なんとソーラーパネルにヒビ割れが入っていました。

ソーラーパネルの端(写真では左手前)の部分が激しく損傷しているようです。でも、発電はできているようなので、チャージコントローラのソーラーパネル入力端子の電圧を測ってみると、34.5Vでした。18Vのソーラーパネルを2枚直列接続しており、30V位あれば、充電できると考えられるので、機能的には大丈夫のようです。

実は、ソーラーパネルのヒビ割れに気づいた直後に、現在使用中のソーラーパネルと同じ型番、寸法のソーラーパネルをインターネットショップで注文していました。そのソーラーパネルは、今日の夕方6時半頃、我が家に配達されました。今回の遠征は、ヒビ割れたままで過ごして、問題があれば帰宅することにします。



7月30日(水) 第四次九頭竜川遠征初日

また、九頭竜川に来ました。

舞鶴若狭道も全線開通したので、院庄ICから中国道に乗って、舞鶴若狭道を経由して北陸道福井北ICという経路で、400km弱の道程、深夜割引を利用して5200円の料金です。

今日は、天気晴れ、水位は平水よりも少なめ(-10cm?)でクリア。ほぼ無風、気温32度~34度。前回来た時(先週)よりも、水温は2度位上昇していると思います。釣り人の数は2倍以上増えています。多分、他の河川は水温が上がって、あまり鮎が釣れなくなっているのかもしれませんが。この時期は、釣った鮎を引き舟に入れているだけで、暑さで鮎がへばってしまいましたが、九頭竜川では、その心配はありません。

根掛りでライン切れ2回、バラシ多発で、冴えない釣果でした。15尾、サイズは15~21cm。



7月31日(木) 第四次九頭竜川遠征二日目

天気快晴、ほぼ無風、水位は昨日同様やや減水ぎみ。

午前、北島大橋下流右岸から吉波にかけて釣り下る。

午後、と言っても4時頃から、中島右岸側分流の中洲側。

吉波の鮎は小ぶりでしたが、中島の鮎は小粒も混じっていますが、大きいのも釣れました。

今日はライントラブルなしで約20尾の釣果でした。

掛けバラシや取り込み失敗が多発したので、手尻を30cm程短くしたら、抜いた後で後方に着水してバレるというトラブルを減らすことができました。

